

平成 22 年 3 月 31 日
株式会社 山梨中央銀行

中期経営計画「未来創造プラン 2013」について

株式会社山梨中央銀行（頭取 芦澤 敏久）は、平成 22 年 4 月から平成 25 年 3 月まで 3 年間の中期経営計画「未来創造プラン 2013」を策定いたしましたので、その概要について、別紙のとおりお知らせいたします。

以 上

中期経営計画「未来創造プラン2013」の概要

1. 名称

中期経営計画「未来創造プラン2013」

2. 計画期間

平成22年4月1日～平成25年3月31日
(2010年4月1日～2013年3月31日)

3. 当行のあるべき姿

「地域の皆さまとともに未来を創造する質の高い金融サービス業」

現在、私たちは、世界的な経済構造の変化や地球環境問題の深刻化に加え、国内においては本格的な人口減少社会の到来など、様々な変化に直面しています。このような環境変化のなか、当行は、地域のリーディングバンクとして、お客さまと地域経済発展のために、これまで以上に積極的な役割を果たし、「地域の皆さまとともに未来を創造する質の高い金融サービス業」の実現を目指してまいります。

そのために、お客さまロイヤルティ（お客さまの永続的信頼）の向上および高い健全性と低コスト・高収益体質を兼ね備えた銀行構築に取り組んでまいります。

〔地域社会、お客さま、株主の皆さま、従業員の各ステークホルダーに向けての当行が目指すべき銀行像〕

地域社会	… 地域社会の持続的発展に貢献する銀行
お客さま	… お客さまから信頼され、支持される銀行
株主のみなさま	… 高い健全性と低コスト・高収益体質を兼ね備えた銀行
従業員	… 働きがいのある活気あふれる銀行

4. 行動指針

本計画では、全役職員が共有し、実践する「行動指針」として、「感謝・謙虚」、「自信・誇り」、「誠実・清潔」、「挑戦・努力」、「親愛・信頼」の5項目を明示しました。これにより企業の社会的責任（CSR）とそれに基づくCS経営の推進および役職員一人ひとりの自立（律）意識の涵養を促し、本計画の完遂を目指してまいります。

「行動指針」はP4をご覧ください。

5. 基本戦略

基本戦略として、「営業力の強化」、「経営基盤の強化」、「地域社会への貢献」の3つの経営課題を掲げ、各々に個別戦略を策定しております。

(1) 営業力の強化 ~ 収益機会の発掘と営業基盤の強化

- ・ニーズに迅速かつ的確に応えることによる取引先数と収益の増強
- ・お客さまとの接点の強化による的確なソリューションの提供とCSの向上
- ・効果的・効率的な営業態勢の構築

【個別戦略】

- 個人営業基盤拡充戦略
- 法人営業基盤拡充戦略
- 地域特性に応じた地区戦略
- 営業チャンネル戦略

(2) 経営基盤の強化 ~ 高い健全性と低コスト・高収益体質の実現

- ・事務効率を飛躍的に向上させることによる経営資源の営業へのシフト
- ・あらゆる資源配分の効率化
- ・リスク管理の高度化等の内部管理態勢の充実

【個別戦略】

- 市場運用力の強化
- 営業店業務プロセス改革
- 効率的な業務運営体制の構築
- 人材の育成と組織の活性化
- 内部管理態勢の充実

(3) 地域社会への貢献 ~ CSRへの取組強化

- ・地域経済成長への貢献、およびそれを当行の成長へ結びつける取組み
- ・社会貢献活動や環境問題への積極的な取組み

【個別戦略】

- 地域経済の活性化への取組み
- 地域社会貢献への取組み
- 環境問題への取組み

6. 地域密着型金融推進への取組み

地域密着型金融は、当行にとって恒久的な課題です。今後においても、中計の経営ビジョン実現を目指し、諸施策を実行することにより地域密着型金融を推進してまいります。

具体的には本中期経営計画で掲げる諸施策の中から、以下の3項目について積極的に取り組んでまいります。

- (1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
- (2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- (3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

7. 金融円滑化への取組み

金融円滑化に関する基本方針、金融円滑化管理方針に基づき、金融円滑化を適切かつ迅速に推進するための取組みを強化してまいります。

8. 目標とする経営指標（平成24年度：2013年3月期）

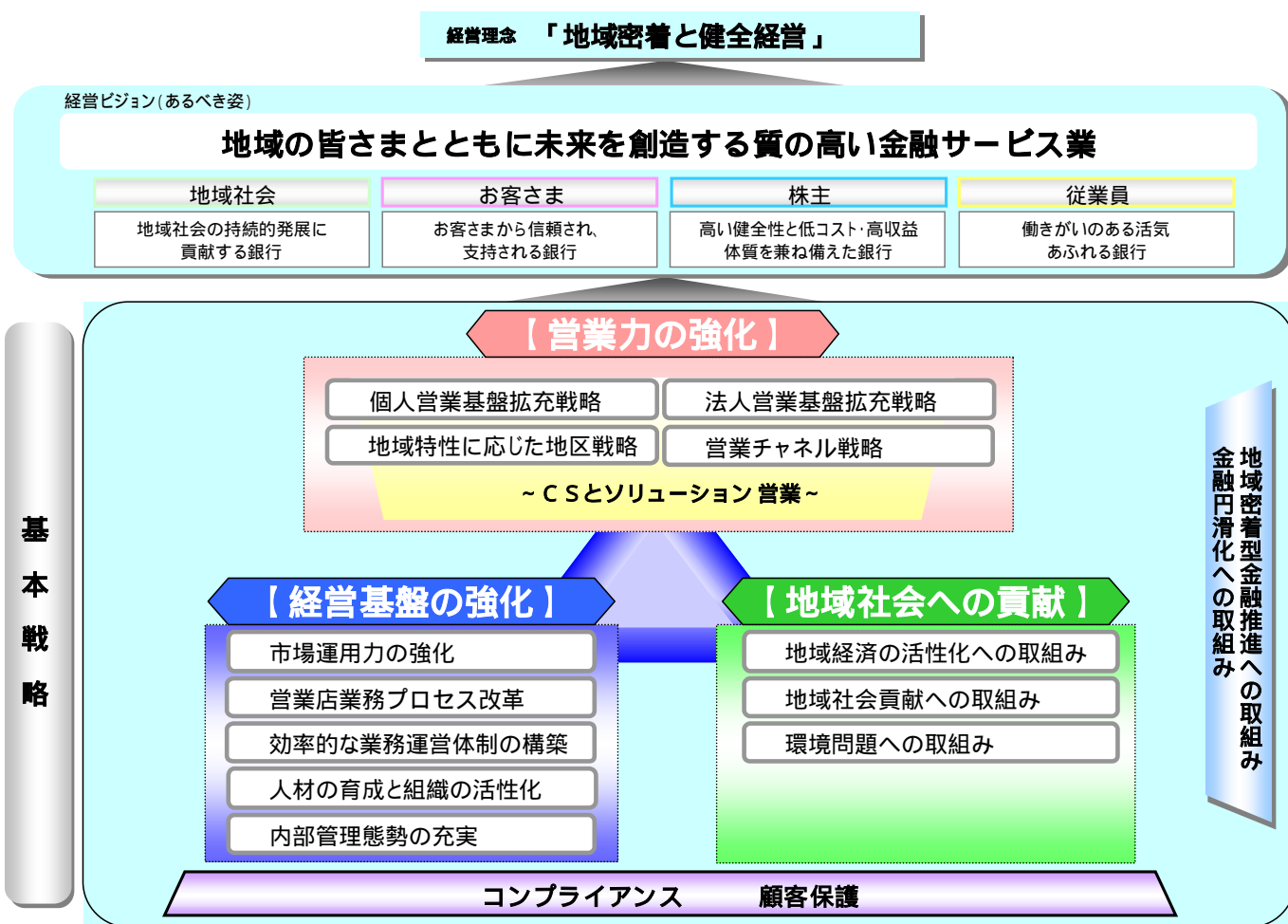
(1) コア業務粗利益	440億円以上
(2) コア業務純益	145億円以上
(3) OHR（コア業務粗利益経費率）	67%以下
(4) ROA（総資産コア業務純益率）	0.5%以上
(5) ROE（純資産当期純利益率）	3.3%以上
(6) 自己資本比率	14%台
(7) 不良債権比率	3%台
(8) 貸出金残高（期中平均残高）	1兆5,700億円
(9) 預金残高（期中平均残高）	2兆6,000億円

$$OHR = \frac{\text{経費}}{\text{コア業務粗利益}}$$

$$ROA = \frac{\text{コア業務純益}}{\text{総資産期中平均残高}}$$

$$ROE = \frac{\text{当期純利益}}{\text{純資産期中平均残高}}$$

【 中期経営計画 あるべき姿と戦略体系 】



【 行動指針 】

【感謝・謙虚】

1. 私たちは、地域の皆さま、お客さま、株主の皆さまに、常に感謝の心と謙虚な姿勢で接します。

私たちは、山梨中央銀行が地域社会やお客さま、株主の皆さまに支えられて成り立っていることを決して忘れず、常に感謝の心と謙虚な姿勢で接し、業務を遂行します。

【自信・誇り】

2. 私たちは、地域経済の発展とお客さまの繁栄のために、「自信」と「誇り」をもってその職責を全うします。

私たちは、山梨中央銀行が地域経済の発展とお客さまの繁栄のために存在することを決して忘れず、未来永劫、地域の金融機関としてあり続けるために、「自信」と「誇り」をもってその職責を全うします。

【誠実・清潔】

3. 私たちは、どのような時も、「誠実」かつ「清潔」な人間であり続けます。

私たちは、「陰日向なく全力で取り組む」、「公私のけじめをつける」、「約束を守る」、「自己の言動に責任を持つ」ことをはじめとする、職業人として求められる規範を遵守し、必ず実践します。

【挑戦・努力】

4. 私たちは、自己の成長を図るために、より高い目標に挑戦し、研鑽に励み、たゆまぬ努力を続けます。

私たちは、地域社会やお客さま、株主の皆さまのお役に立てるよう、自己の成長を図るために、より高い目標を設定し、困難に挑戦するとともに、自己研鑽に励み、たゆまぬ努力を続けます。

【親愛・信頼】

5. 私たちは、ともに業務に携わる同僚と、自分を支えてくれる家族への親愛・信頼の心を大切にし、その生活の安定と向上のために最善を尽くします。

私たちは、ともに支え合い業務を遂行する同僚と、心のよりどころとして常に自分を支えてくれる家族への親愛・信頼の心を大切にし、その生活の安定と向上および各々の充実した人生のために最善を尽くします。

以 上